

新しい年が
素晴らしい一年と
なりますように



横ビュー高原・鬼火だき



みなみおおすみ

みんなの議会

12月・1月会議

新年の挨拶（南大隅町議会 議長）

先進地に学ぶ！（総務民生常任委員会・教育産業常任委員会）

補正予算・一般質問

町民と行政のかけはし

第43号

平成28年
2月号



新年のあいさつ

〈 南大隅創生 飛躍の年に 〉

南大隅町議会

議長 大村 明雄

新しい年を迎え、早いもので一ヶ月が過ぎました。

町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

日頃より町政及び町議会に対し深いご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

南大隅町議会としましては、通年議会や議会報告会の実施など、町民に身近で開かれた議会を目指し、十名という少人数ではありますが、ネットワーク良く日々多くの課題に取り組んでいます。

昨今、世の中の情勢は、国内外を問わず、目まぐるしく変化しております。国内においては、TPPや人口減少による少子高齢化や労働人口不足など、大都市圏を除く地方では大きな問題となっています。

南大隅町におきましても、人口減少による少子高齢化や担い手不足の解消等が喫緊の課題であり、地方創生における「まち・ひと・しごと総合戦略」を地域活性化の重点施策として、定住促進と人口減に歯止めをかける事業を積極的に実施して参ります。

農林水産業をはじめとする地域産業の振興や、佐多岬・雄川の滝の再開発に伴う観光産業の振興と併せて、住民福祉の向上・活力ある地域社会の実現に向け議員一同全力で取り組む決意があります。

町民の皆様には、今後とも南大隅町議会に対し変わらぬ、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、私の年初めの挨拶といたします。

佐多岬灯台付近からの初日の出



補正予算総額 548,251,000円を可決

「北緯 31 度線モニュメント整備事業」・「南大隅高等学校寮整備事業」等、一般会計 512,127,000 円
及び「郡診療所電子カルテシステム導入事業」等、特別会計 36,124,000 円を可決しました。

防犯対策整備事業

犯罪のない安心安全なまちづくりを推進するために、町内 9 カ所に防犯カメラを設置します。

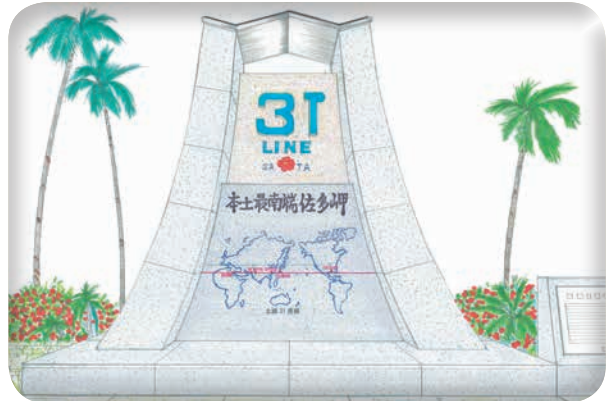


329千円

(上記は 9 カ所 2 か月分のリース料)

北緯 31 度線 モニュメント整備事業

佐多岬の再整備に併せて
新たなモニュメントを整備します。



18,324千円

南大隅高等学校寮整備事業

南大隅高等学校存続に向けて、町内外からの就学者の寮として「ねじめ荘」(建物のみ)を購入後、生徒部屋 6 室・管理人室・静養室・食堂・キッチン・大浴場・トイレ等を改修整備するものです。



41,291千円

【事業内容】

- ・南大隅高等学校寮整備工事請負費
- ・消耗品費
- ・ねじめ荘購入費(建物のみ)
- ・土地借り上げ料
- ・備品購入費
- ・光熱水費
- ・移転補償費

平成 26 年度 決算を認定！

平成 26 年度一般会計決算の最終予算規模は、74 億 1,279 万 7 千円となりました。歳入の決算で構成比の大きいものは、地方交付税 39 億 1,561 万 8 千円（構成比 52.7%）、町債 9 億 110 万円（12.1%）、県支出金 7 億 2,270 万 7 千円（9.7%）、町税 5 億 4,752 万 5 千円（7.4%）で、歳出の決算で構成比の大きいものは、総務費 18 億 6,318 万 6 千円（25.8%）、民生費 15 億 3,667 万 5 千円（21.3%）、公債費 9 億 270 万 4 千円（12.5%）となっています。歳入歳出の差引額は 2 億 459 万 5 千円で、執行率 97.4%となっております。

認定 1 号	平成 26 年度南大隅町一般会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 2 号	平成 26 年度南大隅町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 3 号	平成 26 年度南大隅町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 4 号	平成 26 年度南大隅町診療所事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 5 号	平成 26 年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 6 号	平成 26 年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 7 号	平成 26 年度南大隅町下水道事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定
認定 8 号	平成 26 年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認定

一目でわかる審議結果 12・1 月会議

○全会一致の議案

議案 22 号	鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の一部変更について議決を求める件	可決
議案 23 号	町道の路線廃止及び認定について議決を求める件	可決
議案 24 号	南大隅町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 25 号	南大隅町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 26 号	南大隅町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 27 号	南大隅町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 28 号	南大隅町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定の件	可決
議案 29 号	南大隅町国民健康保険税条例及び南大隅町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 30 号	南大隅町税条例等の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 31 号	平成 27 年度南大隅町一般会計補正予算（第 9 号）について	可決
議案 32 号	平成 27 年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	可決
議案 33 号	平成 27 年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第 3 号）について	可決
議案 34 号	平成 27 年度南大隅町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）について	可決
議案 35 号	請負契約（27 災第 218 号道路災害復旧工事（梶南川線））の締結について議決を求める件	可決
議案 36 号	請負契約（平成 27 年度林道災害復旧事業根占中央線（1 号箇所））の締結について議決を求める件	可決
議案 37 号	南大隅町立へき地出張診療所条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 38 号	平成 27 年度南大隅町一般会計補正予算（第 10 号）について	可決
議案 39 号	財産の取得について議決を求める件	可決

先進地に学ぶ!!

福岡県糸島市

教育産業常任委員会による 所管事務調査報告

「鳥獣害防止対策等調査」を終えて

1月14・15日に、福岡県糸島市の「鳥獣害防止対策」の取組について所管事務調査を実施致しました。糸島市における平成26年度農作物の被害額は、**7千9百万円**で、主要鳥獣であるイノシシの捕獲頭数は、**2千7頭**とのことでした。



捕獲対策として、猟友会106名から選抜された24名で組織される有害鳥獣捕獲員が、農作物の作付にあわせ年3期間（1期間は1ヶ月から2ヶ月）の捕獲活動の実施や1年間を通して、地域からの要請により捕獲に出動する、猟友会13名と市職員2名からなる鳥獣被害対策実施隊等が活動しています。併せて、サル対策においては、3名からなるサル捕獲調査会と年間委託契約により、調査や箱わなによる捕獲が実施され、平成26年度には80頭のサルが捕獲されていました。

独自にイノシシ1頭につき2千円の捕獲奨励金の給付や、被害防止対策として福岡県が実施する支援事業で電気柵・金網柵の設置に際し、受益者負担が発生したときは、市から負担額の1/3（上限5万円）を補助する対策等も実施されていました。

また、糸島市鳥獣害防止対策協議会が福岡県の支援事業を利用し、イノシシ処理加工施設を建設し、民間により平成24年8月から運営され、平成26年度の処理頭数は47頭で226万1千円の販売実績を上げています。市内の直売所や通信販売等を利用して販売されているとの事でしたが、生産・販売の計画がたたない点や、市からの運営に係る補助金等がないため、苦しい運営状況にあるとの説明でした。

以上が調査の状況ですが、当委員会としては、本町に於いても5鳥獣害防止対策事業が進められているなか、これらの調査結果を参考に、今後も、猟友会の協力を頂きながら、鳥獣の生育・発生状況の調査や侵入防止策、捕獲駆除対策など被害防止の技術向上がはかれることを、町執行部に要望いたしました。

教育産業常任委員長
大久保 孝司



イノシシ処理加工施設調査

先進地に学ぶ!!

大分県佐伯市鶴見町・宮崎県日南市飢肥

総務民生常任委員会による所管事務調査報告

大分県佐伯市鶴見町 鶴御崎、九州最東端の岬である。

佐伯市街地より海岸線を1時間ほど走ると、こんもりと繁る緑の中に、白い灯台が姿を現す。見下ろす豊後水道には、多くの釣り船が、その姿を揺らし、彼方にはうつつすらと四国を望む事もできる。



旧鶴見町役場で、我々一行を待っていたのが、ボランティアガイド歴20数年の広津留由紀子さん。彼女の属する「さいき観光ガイド協会」には、他に2人のガイドがいる。鶴御崎の案内は、月に10回を超える事も多いそうである。鶴御崎まで片道40分、同じ様な風景が続く海岸線で、「如何にお客様を飽きさせないか」が、最も苦勞すると

ころだと、彼女は言う。

道中、矢継ぎ早に繰り出される彼女の話に、飽きる事なく鶴御崎灯台に到着した。現地でも、周りからの質問に、次々に答えながら、更なる説明を付け加えていく。彼女が鶴見町の宝であり、鶴御崎観光の魅力あるコンテンツのひとつである事は、言うまでもない。

今後、ボランティアガイドが、南大隅町の観光産業の一翼を担う事を確信できた調査となりました。



九州最東端 鶴御崎にて

次の日訪れた飢肥は、今日の観光の在るべき姿をいち早く実現した観光地である。域外の資本・誘致企業に頼った、大規模観光開発による、地域振興を行わず、地域が自立的に観光・地域振興を目指すとする「観光による町づくり」を行っている。

飢肥城下町保存会が、ボランティアガイドや施設の管理・運営を担い、町ぐるみで観光客をもてなす体制が出来ている。

ともすると、観光に地域への経済効果のみを期待し、大規模集客施設の整備のみが観光振興の様に考えがちである。地域の恵み・持ち味を活かした観光を地域社会と共に作り上げる事により、そこに住む住民が元気で生き甲斐を持ち、持続可能な地域を作り上げている。観光資源をうまく利用しながら、地域を再生していく事も、今後自治体に課された使命である。

飢肥の町では「新しい観光の在り方」を見ることができた。



日南市飢肥にて

4名の議員が町長に 町政を問う!!

一般質問（12月会議）



掲載順	質問事項	質問議員
1	・緊急通報サポート事業について ・婚活事業と結婚祝い金制度について ・2020年開催の東京オリンピックについて	川原 拓郎
2	・鳥獣による農作物被害対策について ・広域連携による海上交通の促進について	松元 勇治
3	・農業振興について ・河川改修について	大久保 孝司
4	・乗合タクシー事業について ・地域再生事業について	水谷 俊一

緊急通報サポート事業について問う



川原拓郎 議員

【川原】利用希望者への対応と利用拡大を図る為の制度改正について伺います。

【町長】この事業は、ひとり暮らしの虚弱高齢者に対し、ご本人の申請に基づき地域ケア会議で協議し、緊急通報装置を無償で貸与している事業です。この事業は、ひとり暮らしの一般高齢者に対しても有益だと判断しており、費用の一部負担等検討して利用拡大を図っていきたいと考えます。

【川原】税金等の滞納がある方は、設置要件を満たさないのか伺います。

【介護福祉課長】そういった事も採択基準の一部に入るものと考えますが、この事業の有効性を鑑みますと、広く活用すべきとの協議もされており、検討を進めてまいります。

【川原】この事業の利用者は、わずか25名です。私も、対象となる方にこの事業を紹介して喜んで頂いたという事もありました。どのような形で普及促進を行っているか伺います。

【介護福祉課長】随時、案内は行っています。今後は、独居の一般高齢者でも使用料を払って利用したいと考えておられる方などを含めて、利用拡大を図っていきたいと考えます。

【川原】この事業の対象者と思われる方に対して説明はされていたという事ですか。

【介護福祉課長】はい。この事業は、申請書に本人と支援者2名の登録が必要となります。その内容について協議をしております。

【川原】実際、私が紹介してこの装置を設置された方は、対象者でありながら、この様な事業がある事をご存じなかったのです。先ほど町長もこの事業は非常に有益であると言われました。であるならば、この事業の普及拡大を図って頂きたいと強く思いますが、町長の考えを伺います。

【町長】この事業の有益性を含め広く広報して参りたいと考えます。また、段階的に負担を頂きながら、今までより枠を広げ普及拡大を図っていきたいと考えます。

【川原】高齢化が進み、福祉を推進する町としては、

是非とも使用料の半分或いは、3分の2を補助してでも、この事業を推進されることを希望します。



婚活事業と結婚祝い金制度について問う

【川原】婚活事業の推進と定住促進を目的とした結婚祝い金制度の創設について伺います。



【町長】婚活事業は、若い世代を対象に、広域的なイベントとして取組んでいます。今後、婚活事業の推進

と併せて、結婚祝い金制度の創設につきましても、効率的な定住促進を図る為に積極的な取り組みを図りたいと考えます。

【川原】本庁において婚活は、魁という団体が中心に行っているようですが、異業種で集まるとなかなか意思疎通が、できにくいところもあるのではと考えます。今後、農業後継者・漁業後継者・商工業後継者と別々に行う事は出来ないか伺います。

【企画観光課長】現在、婚活イベントは大隅地区5町で積極的な取り組みを進めています。本町でも魁という団体を中心に取り組んでいる状況です。

11月28日に「ホールイン・ラブ」と題して1泊2日で開催し、男6名、女7名が参加しています。今後も、そのような意見があった事など話をしながら進めていきたいと考えます。

【川原】人口減少に歯止めを掛ける為には、今しっかりと対策をとらないと大変

な事になると思われます。そこで、新たに結婚祝い金制度を創設して頂きたい。たとえば、町外からお嫁に來られた場合などは、町内同士の結婚より多くの祝い金を差し上げる等、結婚補助金というような形で支援を行うと魅力的な事業となるのではと考えるが、町長の考えを伺います。

【町長】町内の方々の結婚をサポートしていく事が第一の前提であると考えます。加えて、本町の人口を増やすためには町外からの方々が流入しそこで出産・育児をして頂く事が理想的だと考えます。結婚・出産・育児と一貫したサポート体制が必要だと考えます。

【川原】広く意見を求めながら、ぜひ推進して頂くよう求めます。

2020年開催の 東京オリンピックについて問う

【川原】オリンピック開催における佐多岬を含む聖火リレーの取組について伺います。

【町長】聖火リレーコースの選定について、事前に情報収集に努め、本町においても聖火リレーのコースが設定されるように関係機関に働きかけ、東京オリンピック・パラリンピックを町民が肌で感じられるような取組を図ってまいります。

【川原】最初にこの質問の通告文を目にした時の率直な町長の感想をお聞かせください。

【町長】素晴らしいアイデアを出して頂いたと思います。今後、佐多岬開発が進んでいく中で、日本中、世界中に情報発信するということでは早速取組むべき

素晴らしい企画であると考えております。

【川原】聖火リレーが佐多岬から錦江湾沿いに垂水を通って鹿児島へ行くコースが決定されれば、ものすごいわくわく感や感動を感じることが出来ると思います。それには、関係する市町が機運を高めて内外にPRしながら、是が非でも実現させたいと思います。最後に町長の決意を伺います。

【町長】早速、関係機関に対して働きかけていきたいと思えます。また、町内はもとより大隅を挙げて聖火リレーを誘致しようという機運を高めていきたいと考えています。

結婚イベント

南大隅の海の幸が盛りだくさん♡

恋の回転ずし

in 南大隅

2016年2月21日(日)

10:00~16:00

司会 竹之内 雄太

日程

- 根占保健センター集合
- お寿司づくり体験
- 食事・フリータイム
- カップリング

☆垂水港、リナシティかのやから無料送迎車運行!!

対象人員 20歳から45歳までの独身男女各10名
※各10名を超えた場合は、町内在住者を優先させていただきます。

参加料 3,000円

申し込み締切 平成28年2月17日(水)まで

お申し込み 郵送・FAXによる受付
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送かFAXしてください。

お問い合わせ 南大隅魁 (みなみおおすみさきかけ)
TEL.080-7989-5914 E-mail: minamisakigake@gmail.com
主催 南大隅魁 (南大隅町商工会青年部・はえんかぜ・南大隅町青年団)

携帯電話からも詳しい情報がご覧になれます。

カップル成立組にはすてきなプレゼントがあります!!
女性参加者には、お土産つき!

鳥獣による農作物被害対策について問う



松元勇治 議員

【松元】年々減る事のない農作物被害について現状をどの様に認識しているか伺います。

【町長】本町の鳥獣被害は、主に「サル・イノシシ・ヒヨドリ」によるものが多く、平成26年度の被害額は、総額約4千百万円で、この内ヒヨドリによるものが2千8百万円と大きな割合を占めています。また、サル、イノシシによる被害も年々増加しており、その要因としては農業従事者の高齢化及び離農による耕作放棄地が広がり、害獣の活動エリアが広がるといった悪循環も影響していると考え

ます。

【松元】大隅地域振興局管内における鳥獣被害は南大隅町が最も多くなっています。その中で、志布志市の被害額がこの1・2年激減しています。この要因となるものを確認されているのか伺います。

【経済課長】志布志市の捕獲頭数は大幅に増加し被害額は減少しています。確認したところ、猟友会に対し被害が発生する前に指示書を出している事、併せて猟友会の方々が一生懸命駆除にあたられた結果であるとの事です。

【松元】防護柵を設置しても、他へ行くだけ、やはり個体数を減らすことが効果的だと考えます。

【松元】イノシシ・サル等人里周辺に捕獲用ワナの設置を増設する管理組織を作る考えはないか伺います。

【町長】被害対策として、「追い払い」「侵入防止」「捕獲」などハード・ソフト両面から総合的な対策を実施しています。管理組織につきましては、集落・地区等の協力が頂ければ地域一体となった取組が可能になり効果も期待できると考えます。今後、先進事例等を調査の上検討して参ります。

【松元】先進地といえば、福岡県の糸島市がイノシシを処理加工し、その肉を道の駅で販売することにより、捕獲頭数を増やすという好循環を生み出しています。そして平成25年度には農林水産省生産局長賞を受賞しています。これらは糸島市鳥獣被害対策協議会を中心に行われています。南

大隅町でも対策を講じる協議会は開催していますか。



【経済課長】被害対策を講じる様な協議会はありません。

【松元】わが町でも、高齢化による猟友会の会員不足や捕ったイノシシの肉が売れない等色々な問題もあると聞きます。それらを解決していくためにも対策協議会を設置すべきだと思いが、町長の考えを伺います。

【町長】協議会をどの様に活用していくかという点につきましては、今後、検討したいと考えます。

【松元】鳥獣被害の対策を議論し、諸問題を解決していく為の協議会の設立を強く求めます。

【松元】野鳥（害鳥）の対策は、どの様に考えられているか伺います。

【町長】ヒヨドリ被害の対策としては、捕獲に加え、ミシン糸を樹木に張りめぐらす防止方法を試験的に実施しています。これによる一定の効果を確認していますので、今後は、捕獲強化と、より効果的な食害対策を検討して参ります。

【松元】試験的に実施された対策に効果が見られるのなら、個別ではなく、地域全体の取組として助成しながら実施する考えはないか伺います。

【経済課長】指摘されたとおり町内全域で実施しないと他が余分な被害を受ける事になりますので、地域ぐるみの取り組みが必要だと考えます。果樹農家に対しては、ミシン系の他に平張りハウス等も併せて検討して参ります。

【松元】生産者は、1年間手塩にかけた農作物が鳥獣被害に遭うと収入源を失ってしまうことになります。農家が安定した収入が得られるように十分検討して頂き、早急に対策を講じて頂く事を求めます。

広域連携による海上交通の促進について問う

【松元】山川根占航路の利用の現状と今後の取り組みをどの様に考えているか伺います。

【町長】山川根占航路は、現在フェリーなんきゅうが運行しており、運行開始以来利用乗客約27万8千人、車両約10万2千台を運び、運行率は、91%となっています。今後は、佐多岬の整備に併せて、確実な航路の維持・発展に努めたいと考えます。

【松元】先日、乗船した際の利用者は車1台に乗客3名でした。時間帯にもよるとは思いますが、利用拡大の対策をどの様に考えるか伺います。

【企画観光課長】今後、広域的な観光ルートの中で佐多岬へ呼込むツアーを増やし、大隅半島から薩摩半島への人の流れを作ること等を検討しております。

【松元】利用客が少ない原因の一つに運賃の高さがあると考えます。もう少し安



ければ利用するのだがという声もよく聞きます。是非、結果の出る対策を実施して頂きたい。

【松元】今後の観光を考えると、人・物流を活性化させる為、フェリーの2隻体制は出来ないか伺います。

【町長】今後、積み残す状況が想定され、薩摩半島と大隅半島との交流、佐多岬整備に伴う大隅地域の観光振興や物流・地域の活性化を図る為、現在の利用状況、運行管理、フェリーの大増強や2隻体制による増便運行など、効率的な運行体制の整備確立について、調査

検討を図り航路の維持・発展に努めたいと考えます。

【松元】今のままでは、乗船できないリスクを避け、最初からほかのルートで鹿児島へ帰る方法を選んでしまふ。また、船がドック中の1か月間は運行できない。2隻体制にする事でこのような問題は解決し、利用客の増加に繋がると考えます。これまでのフェリーの話は個人の考えではなく、多くの方々の民意であります。良い成果が得られる事を望みます。

【松元】新規航路の可能性について伺います。

【町長】新たな航路としては、鹿児島市と根占港を結ぶ航路や、大泊港から種子島・屋久島への離島航路などが考えられます。今後佐多岬を核とした観光振興を図る為には、屋久島国立公園との連携など、離島航路整備による様々な観光ルートの開発も考えられるため、関係機関を含め調査検

討をしたいと考えます。

【松元】南大隅町が鹿児島市、指宿市、離島等と繋がって、人・物の交流が出来たらと思います。平成30年の観光客数32万人を達成する為にも、最重要課題として取組んで頂きたい。町長の考えを伺います。

【町長】大泊・種子島の航路には、以前から、非常に興味をもっております。南大隅町が行止りではなく、入り口になる可能性を秘めています。今年度実施しました指宿・根占間の海上タクシーの実証運行が功を奏しておる状況、来期は実証運行をやってみたいと考えます。

【松元】私は、「大隅百年」という本の中で「未来を拓く」と題して、大隅縦貫道の早期開通と、大泊・種子島航路の実現が南大隅・大隅半島を活性化させると書いています。この航路の実現に向けて努力して頂きたい。

農業振興について問う



大久保孝司 議員

者数は、712人で前回より214人23・1%の減となっています。

【大久保】年代別の、基幹的農業従事者数が解つていれば、伺います。

【経済課長】65歳以上が440人の61・8%で前回比25・3%の減、40歳から64歳までが236人の33・1%で前回比20%の減、20歳から39歳までは、36人でわずか5%となります。

【大久保】今回のデータで本町の農業にとつての最重要課題は何だと考えるか伺います。

【経済課長】基幹的農業従事者数の減少にあると考えます。中でも若い従事者数が少なく、後継者対策も必要であると考えます。

【大久保】今回のデータに

基づきながら、今後の農業振興策に活かしていく考えはあるか。

【経済課長】今後、検討した上、活かせるところは活かしていきたいと考えます。

【大久保】今回のデータを示しながら会議の開催や事業の企画を実施される事を求めます。



【大久保】I・Uターナーを就農へ導くため研修制度を提案したが、今後、どのような施策で農業就業者数を増加させる考えか伺います。

【町長】新規就農者対策として、研修制度は効果的だと考えますので認定農業者協議会等と協議しながら受入体制を整えていきます。具体的には、南大隅まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる5事業の実施を検討していきます。

【大久保】それでは、その中から、「農林業者就業促進事業」「新規就農者研修施設整備事業」の事業内容を伺います。

【経済課長】まず「農林業者就業促進事業」は入植者の軌道に乗るまでの生活費を援助する事業です。次に、「新規就農者研修制度」は鹿屋市吾平町の事業に倣い認定農業者協議会の農家に就農希望者を受け入れて頂き生活費と受入れ団体を助成する事業を検討しています。「新規就農者研修施設整備事業」は、降灰対策事業を考えていますが、1戸では事業対象になりません。条件を満たすまでの間、

町で研修施設が出来れば、そこで営農出来るのではとも考えます。あとは、青年就農給付金などの国の事業に該当しないものを町で助成していくように考えております。

【大久保】県内で農業公社を設立している市町村が12あります。では、本町において公社設立が難しいと思われる理由を伺います。

【経済課長】本格的な調査は行っておりませんのではつきりとは申し上げられません。

【大久保】研修制度は新規就農をする人が特農家で働きながら研修をする制度という事でよろしいか伺います。

【経済課長】認定農業者協議会を中心に活動して頂くと考えております。

【町長】本町における2015年の農業就業人口は、735人、平均年齢は66・4歳、耕作放棄地は41haで、前回との比較は、人口が286人の28%の減、平均年齢は変わらず、耕作放棄地は約3haの6・7%の増となっています。また、基幹的農業従事

【大久保】この研修者制度の具体的な構想はまだ決まっていないと理解して宜しいか伺います。

【経済課長】今のところ、具体的な要綱等は作成しておりません。

【大久保】今、示された様に農家が受け入れるものと、指導員のいる研修施設を町が作りそこで受入れを行う研修制度もあると思うが、どの様に考えるか伺います。

【経済課長】受入れは個人の農家で行っていききたいと考えます。

【大久保】暖かい地域で農業をやりたいという方々が日本全国にいらつしやると思います。そういった方々を一人でも多く呼び込む為の、農業政策を実施して頂く事を求めます。

河川改修について問う

【大久保】雄川改修工事が当初計画から10年以上の遅れと思うが、県への要請は毎年行われているか。また、28年度以降の計画は明示されているか伺います。

【町長】地域住民の安心・安全を守る為、雄川河川改修事業の早期完成、寄洲除去等につきましては、毎年県への要請は行っておりま

す。平成28年度以降の計画等につきましては、雄川橋上流側250m区間の実施計画は出来ているが、事業費については未定との事です。今後も県に対し雄川改修の早期完了に向け要望して参ります。

【大久保】総延長4,650m中何mが完工しているのか、進捗率を伺います。

【建設課長】平成26年度までで延長2,200mが改

修されており、進捗率は47・3%です。

【大久保】30年かかって47・3%の進捗率、あまりにも低いと感じます。観光事業に関して県は、億単位の予算を組んでくれますが、人命を守るための防災に、いったいどれくらいの予算を組んでいるのか、そこで、平成25年度から平成27年度までに使われた雄川改修工事の予算額を伺います。

【建設課長】平成22年度は、2億8百万円、23年度は、1億6千7百万円、24年度は、1億4千2百万円、25年度からは、大幅に減少して3千7百万円、26年度は4千万円、27年度は3千万円の予算額で工事が実施されております。

【大久保】町長はこの数字を、どの様に考えるか伺い

ます。

【町長】かなり減少していると理解しています。

【大久保】以前、上流側では、堤防が決壊し北之口・西本・浦・川原の水田が被害を受けてきました。このような災害を防ぐためにも一刻も早い完成が望まれる中、平成25年度以降の予算の減少は非常に残念であります。予算を増額する為に町長はどのようにしたら良いと考えるか伺います。

【町長】上流に行くに従って川幅が狭くなり、延長の割に予算が縮減されているのではと考えます。大隅地域振興局並びに県の部長等へも要請はしておりますが、県も財政状況が厳しいなか豪雨災害等へ予算が取られているのではと考えます。今後もあるべく早期に完成させて頂くよう要望して参ります。

【大久保】雄川河川改修工事がいつ頃までに完成する

と県は示しているのか伺います。

【建設課長】河川改修工事の完了時期は特に定めないと



【大久保】優先順位は上位の方だと申されましたが、1億円を超えていた予算が、4千万、3千万と減少している事は、納得がいかない旨を大隅地域振興局等へ是非とも伝えて頂きました。雄川河川改修工事が一回の災害もない中で一年でも早く完成する事を求めます。

乗合タクシー事業について問う



水谷俊一 議員

【水谷】乗合タクシーの利用状況を伺います。

【町長】平成23年4月から城内・滑川及び川北鬼丸地区で事前予約型「乗合タクシー」の運行を実施しています。利用者は本年4月から10月までで述べ737名で、昨年同時期に比べ112名の増加となっています。

【水谷】本年度より同じような路線で乗合バスの運行が始まりました。にも関わらず、乗合タクシーの利用者は増加しています。根占地区に於けるこの様な状況、併せて佐多地区に於いてタクシーの必要性は感じていないか伺います。

【企画観光課長】利用者は確かに増加していますが、同じ方が数多く利用されている実態もあります。ただ、高齢者が増える中、検討は深めるべきだと考えます。また、佐多地区に於いて現状では必要ないと考えます。

【水谷】根占地区において、乗合バスが運行しても乗合タクシーの利用者が増えている事を鑑みると、佐多地区でもタクシー事業は必要だと思えます。

【水谷】運賃（利用者負担分）の引き下げを行い、利用促進を図る考えはないか伺います。

【町長】利用状況などを考慮し、公共交通施策の一環としての取組と、併せて、高齢者福祉対策としても、今後、長期的に効率的な運行体系を確立する為、運賃体系も含めて調査・検討致します。

【水谷】同じく乗合タクシーを実施している肝付町・曾於市では運賃は200円です。本町の500円は高いと感じます。平成26年度の平均乗車人数は、1.5人です。金額を下げて乗車人数が増えれば、町の支出は今より減少する可能性もあります。やはり、200円程度の料金が妥当だと考えるが、町長の考えを伺います。

【企画観光課長】利用状況や近隣市町の状況を調査して方向性を探っていききたい。まずは、今年から始めた根占地区でのコミュニティバスの運行を軌道に乗せる事を考えていきたいと思えます。

【水谷】現行の「重度障害者タクシー料金」に、75歳以上で運転免許を所持していない者、それに該当しない運転免許証を自主返納した者を加えて、「福祉タクシー」として、利用助成を行う考えはないか伺います。

【町長】お尋ねの件は、弱者を均等に支援する施策としては、いささか実効性を案じているところです。これらのことから、コミュニティバスへの接続他、辺地における支援、要介護者への助成など総合的な改善策として検討します。



【水谷】「弱者を救済するにあたりいささか実効性が案じられる」と答弁されたが、その懸念材料は何であるか伺います。

【介護福祉課長】重度障害者タクシー料金助成事業の利用者が非常に少ない点などから、別の形で運転免許証を所持していない方々の支援策は検討していきたいと考えます。

【水谷】宮田・登尾地区等の様にコミュニティバスや乗合タクシーが運行できない地域の移動困難者を救済する為に「福祉タクシー」という形なら、その様な地域でもサービスの提供が出来るかと考えております。

【町長】重度障害者タクシーと75歳以上で運転免許証を持つていない方を「福祉タクシー」としてくるのは、違うのかなと考えます。75歳以上で運転免許証のない方は、必ずカバーしていきます。

【水谷】福祉には「介護福祉」もあれば「高齢者福祉」もあります。錦江町では、私の話してきた内容を、「福祉タクシー事業」として、実施しています。また、佐多地区での運用を考えた時「福祉タクシー」なら既存のタクシー事業者を利用出来るのではと考えます。地域間格差のない平等な施策を、是非とも実施して頂きたいと考えます。

地域再生事業について問う

【水谷】過疎・高齢化の流れ

を止める為には、U・イター
ン等の移住を促進すること
が重要と考えます。今後の
移住支援策を伺います。

【町長】今後の移住・定住
の支援策としては、移住環
境整備の為、定住促進住宅
取得資金補助事業の見直し
や、空き家バンク事業、各
種子育て支援策の充実、移
住・定住に関する広報PR
活動の推進など、移住しや
すい環境づくりに努めて参
ります。

【水谷】様々な支援策を講じ
ても、如何に、これらの情
報を発信するかが重要だと
考えます。

情報発信のあり方をどの
様に考えているか伺います。

【町長】移住・定住に関して
は、役場内の窓口を一本化
し、雇用や子育てを含めた
説明が出来る様な体制作り

を来年度計画しています。

【企画観光課長】鹿児島県が
大都市圏で計画している移
住セミナーへの参加や、イ
ンターネットによる広報活
動を重点的に取り組んでい
こうと考えます。

【水谷】庁舎内での窓口の一
本化は重要な事だと考えま
す。是非実現して頂きたい
と思います。

【水谷】移住を促進していく
上で欠かせないのが「地域
おこし協力隊」であると考え
えます。今後、この事業を
どの様に活用していく考え
か伺います。

【町長】本町に於いて、現在
2名の地域おこし協力隊員
が活動しております。地域
の活性化を図る為にも、彼
らを有効に活用する事が、
移住につながると考えます。
農林業の新規就農や観光振

興業務など、具体的な人材
の活用を求め、地域活性化
が図れる様に、検討して参
ります。

【水谷】地域おこし協力隊を
受け入れるにあたり、彼ら
の受け入れ先となる企業・
団体の確保が最も重要とな
りますが、どの様に考えて
いるか伺います。

【町長】地方には仕事がない
という潜在意識がありま
す。しかし、企業に問い合
わせると、どこも人手不足
の状況にあるという事です。

【企画観光課長】民間やNP
O法人等を活用して実施し
ている自治体が全国にはあ
ります。今後、様々な調査
を行いながら見極めたいと
考えます。

【水谷】地域おこし協力隊が
この町で3年間働きながら
学び、この町で自分は何が
出来るかを見つけ、起業し、
定住する。こういった一連
の流れを支援する体制を作
る事が移住支援の為に最

も重要なことだと考えます。

【水谷】U・イターン者への
雇用・起業支援策を伺いま
す。

【町長】U・イターン者の
雇用起業支援を含め、積極
的な取組が必要だと考えま
す。青年就農給付金事業、
若い農業者入植者促進事
業、産業振興支援事業、商
工業者スタートアップ支援
事業等に取組んでいます。
加えて、商工業振興に宿泊
施設や空き店舗など商工業
施設等整備に係る支援制度
の創設を検討しています。

【水谷】移住希望者に南大
隅町を選んでもらうために
は、他と違う魅力が無いと
いけません。そこで、移住
者の起業支援のための基金
を設立して頂きたいと考え
ます。それには町による審
査も必要になると思いま
すが、町長の考えを伺いま
す。

【町長】本町への移住を推進
する中で基本となるのが1

次産業の拡充です。その中
から6次産業が生まれる事
が好ましいと考えます。そ
の中で目玉となるものは、
観光産業だと考えます。支
援の為の基金は「ふるさと
おこし基金」を使用し、そ
の審査は役場だけではなく、
金融機関などの民間の力も
借りて実施する事を検討し
ております。

【水谷】国が地方を創生す
る地方創生ではなく、我々、
自ら地域を再生していくと
いう考えのもと、今後、5
年でも、10年でも地域再生
事業に取組むべきだと、考
えます。



農作物に甚大な被害！

《 積雪による低温が原因 》

1月24日未明から降り始めた雪が25日にかけて降り続き、農作物を直撃しました。パレイショ・キヌサヤエンドウ・スナップエンドウ・ビワ等を中心に甚大な被害が出ています。被害内容は下記のとおりです。議会としましては、町内の被害調査を実施しながら、併せて被害復旧や支援を図るため、関係機関への要望活動を進めています。

農作物名	被害面積	被害率	被害額	被害状況
パレイショ	104ha	60%	166,920,000	莖葉の損傷
キヌサヤエンドウ	7ha	50%	28,560,000	花・さやの損傷
スナップエンドウ	20ha	50%	66,220,000	花・さやの損傷
びわ	1.5ha	10%	565,000	果実の損傷



被害を受けたパレイショ畑



現地調査状況

あとがき

表紙は、一月十日滑川校区で開催された「横ビュー高原鬼火たき」の写真です。毎年この時期「無病息災」と「五穀豊穰」を祈願して行われています。鹿父神社の宮司による神事後、積み上げられた竹に火がつけられると、「パチパチ・ボンボン」と竹のはじける音と炎の共演を体感する事が出来ました。豚汁に猪肉・焼酎まで頂き、体も心も温まりました。町内外から、多くの方々に参加して頂くことが、地域の伝統・文化を継承していくためには欠かせない事ではないでしょうか。今年は、町内各地の催事に、足を運んでみませんか、癒される何かが、必ずそこには、あるはずです。

議会に対するご意見や「みんなの議会」を読まれたご感想などを、お寄せ下さい。

水谷 俊一

【お知らせ】

3月会議は、本庁議会議場で開催されます。一般質問等、「議会だより」では見えない議会が、ご覧になれます。詳しくは、議会事務局までお問合せ下さい。



【発行責任者】

議長 大村 明雄

【広報編集委員会】

委員長 水谷 俊一

副委員長 川原 拓郎

委員 持留 秋男

委員 大久保 孝司

委員 浪瀬 敦郎

委員 井之上 一弘

議会を傍聴してみませんか！